

平成 28 年 11 月 21 日

11 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は好天が続き伐採現場はフル稼働、入荷量も平年の水準まで回復。10 月以降主伐の高齢級良材が多く入荷し、製材工場の積極的な手当の動き見られる。引合いは全般に良く、特にスギ中目材・大径材が引続き好調。元落ちは極めて少ない。価格は平年並みまで入荷量が回復の中で中目材中心に堅調な展開続く。スギ、ヒノキともに柱材は保合、中目材は強保合での推移。

群馬の製材工場は秋の需要と公共物件が重なり若干忙しい操業。原木は国有林、民有林とも順調な出材で集荷しやすい状況。製品販売は注文材、公共工事中心に順調だが、製品市場出しや地場材木店・工務店へは少ない。製品在庫は比較的潤沢だが、柱類、貫など羽柄製品に品薄感。価格は 10 月の原木値上げに連動するのではと期待したが、製品市場では依然安値が唱えられている。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、米国内工場が越冬在庫確保に動いているため産地原木価格は上昇。米加針葉樹製材品協定失効後の猶予期間が過ぎたことで、加製材品への報復関税賦課が懸念され、このため加製品の入荷減からくる米国内原木価格が上昇するのではとの思惑。産地の港頭在庫は製材工場の原木手当増により、小径木主体に需給が締まる方向。ウェアハウザー社の 11 月積み対日米マツ価格は、前月積比一律 \$ 10 アップ。9 月の米材丸太の入荷量は 248 千 m^3 で、1-9 月累計では前年同期比 15%増のペース。出荷量は 259 千 m^3 で同累計では 8%増。在庫量は 255 千 m^3 で前月比 11 千 m^3 減。日本国内の大手米材工場は好調を維持。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)10 月の入荷量は 32 千 m^3 (前月比 21.5%増)、出荷量は 31 千 m^3 (同 16.2%増)。在庫量は 52 千 m^3 (同 1.5%増)。9 月の米国住宅着工は、予想を大幅に下回る年率 1,047 千戸で前月比 9.0%減。ランダムレンジス紙の 10 月末 15 種木材価格平均は、\$ 350/M で先月末比 1.7%減。現地価格は引続き日本からの注文で大手サプライヤーが強気。11 月もプレカットを中心に各社忙しく荷動きも良好。パワービルダー系の仕事が目立つが、年内一杯この状態が続くと予想。韓進海運の影響もあり船運賃が上昇傾向。

3. 南洋材

サバは乾季から雨季への移行期で天候が悪く出材は減少気味。併せてサラワクの出材減の影響でサバに需要が集まり原木価格は強含み。製品価格も徐々に値上がりの見込み。サラワクはサバ同様に天候が悪化状況。出材が少ない中で原木需要が回復傾向のため価格は高値横這い、製品は引続き強含み。PNG ソロモンはインド勢の買付が強まり価格は強含み変わらず。丸太の入荷は減少、出荷は増加、在庫は減少。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品・集成材とも円安傾向と現地高の影響で相場は強含み。国内販売は当用買いの商況変わらず。

4. 北洋材

シベリア地域は冬山の伐採期開始。原木は中国の購買意欲旺盛で価格は高止まり。9月の関東の製品在庫は40千 m^3 で前年同月比11%増。丸太価格はエゾマツ・カラマツ\$130、アカマツ\$163で保合。製材品は現地挽き上級グレードが円貨で保合変わらず、国内挽きも保合。アカマツ原板は\$360で高値据置き。荷動きは現地挽き3,0cm×4.0cm上級グレード需要堅調、栈木・3mタルキの荷動きが依然悪い。国内完成品は良質グレードが堅調で低級品は低調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼動は通常操業、原料調達丸太が9月は極端に少なく、原板は端境期で入荷少ない。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は引続き順調。カラマツは高値、スギは横這いそのまま推移。ロシア材は横這いだが、供給が冬場に向けて若干の入荷遅れの懸念。米材は国内向け需要が好調で価格は強め。南洋材は原木状況の厳しさに変化なく、価格も高値張り付きのままで推移。9月の国内合板総生産量26.5万 m^3 のうち、針葉樹合板は25.2万 m^3 で今年一番の生産量。出荷量も25.5万 m^3 で依然高水準で推移。在庫量は更に減って9.5万 m^3 、うち構造用合板は8.5万 m^3 まで減少。国産針葉樹合板の11月販売価格は12mm、厚物ともに横這い。引続き需要旺盛で玉確保が優先される中、強気の展開も予測されるが、コスト見合いで高止まり状態。

国産針葉樹合板は高水準の出荷が続く。市場では厚物合板を中心に品薄感が大きく、納期遅れも深刻な状況。輸入合板はここにきて潮目が変わり、生型枠、ラワン構造用12mmは玉不足から引合いが増加し、価格も上昇に転じている。先行き国産針葉樹合板は、需要旺盛が続く中で冬場に向かいメーカーの生産効率低下が考えられ、玉不足が更に深刻化すると懸念。輸入合板はアイテムによる玉不足状態だが、今後の需要が感じられない中で、価格は一先ず底値を脱した

との見方。品薄品目は針葉樹合板 12mm、厚物、輸入生型枠、ラワン 12mm、荷余り品目は特になし。

6. 構造用集成材

10月のラミナ入荷量は大幅な入港遅れのため減少したが、11月はある程度回復の見込み。韓進海運問題が入港遅れに影響。国内集成材の受注は依然好調。販売・荷動きとも良好で WW 柱、RW 梁桁とも納期は1ヵ月以上。販売先行きは受注残多く、年内は好調が続く見通し。在庫は少なく各社とも通常の70%程度。価格はラミナは横這い、集成材は柱、梁桁とも品薄感続くが、横這いから若干の値上げ。輸入集成材は現地の良材丸太不足、成約量減少、入港遅れ等で供給の不安定続く。WW 柱は€10 値上がりで国内価格と同じ、輸入の割安感薄れる。国内各メーカーとも原料不足で年内は生産増加見込めず。集成材欠品のためプレカット工場の稼働に影響、解消は来年1月以降の見込み。

7. 木材チップ

FIT との競合でチップ原木の入荷は総じて良くないが、地区により稼働遅れや計画廃止の動きから、在庫原木は製紙用に流れている状況。解体材は10月後半から発生量減少、熊本県は引続き被災材処分に苦慮。消費は製紙用で一部地域が NC の集荷増、燃料用は工場の定期修理も終わり増加傾向。在庫は横這いかやや減少。針葉樹チップ価格は高値横這い。輸入チップは為替レートの変動に伴い価格・運賃とも先行き不透明。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ・ヒノキの入荷少なく小幅な荷動き。造作材は新築、増・改築需要で全般に引合い強い。外材の構造材は、米ヒバ土台中心に小動きあるが、為替変動による先安観から買方の在庫意欲薄い。造作材はスプルー・米ヒバ良材の動き好調。市日来場者に変化ないが、普段営業日の来場増える。買方は引続き当用買いで在庫手当ては慎重。天候回復で仕事が進み、懸念された秋需の空振りは避けられそう。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板いずれも保合、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガ角・平割とも弱保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割保合。集成材は WW 柱・梁が品薄ながら保合、RW 柱・梁ともに保合。合板は国産針葉樹保合、輸入品弱保合。プレカット工場は見積・加工とも忙しく、新規納入は 12

月の見込み。工務店は新築・リフォームとも仕事量増加したが、合板等の原料価格上昇分の転嫁が課題。

11月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↗	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
			同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
			アカマツ(KD) 30×40 AB	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	→
			アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗